2014
5
No.49
The Kashiwara Miharibanかしわら見張り番
発行所 かしわら見張り番
代表 はまうら佳子
〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782
info@kashiwara-miharibban.com

濱浦市議、田辺2丁目に郵便ポストを設置

住民要望の田辺2丁目ポスト、今年8月予定が3月18日に！

かねてから住民の要望があった田辺2丁目に、3月18日にポストが設置された。もともと8月の予定だったが、濱浦市議と亀井静香衆議院議員の連携で異例のスピード設置となった。

区長と地域住民が1月に要望書提出

田辺2丁目は、郵便ポストが近くになく、設置がかねてからの住民の願いであった。ポスト設置は、日本郵便株式会社での規定がとりあえず、なかなか容易には進みにくいという。

今年の1月10日、田井中区長から相談を受け、区長から日本郵便（株）に要望書提出してもらった。そのあと、濱浦市議が懇意である亀井静香衆議院議員に連絡をとり、亀井静香衆議院議員が後押しをしてくれた結果、5ヶ月も早く設置となったが、田井中区長の地域住民に対する積極的な動きが功を奏したのである。

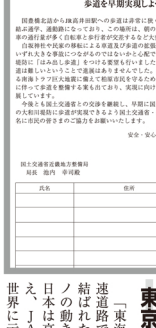
今回のスピード設置は、明らかに濱浦市議と亀井静香衆議院議員の連携によるものだが、一部から、「中野市長と『維新の会』所属の府会議員が日本郵便（株）に掛け合ったからだ」というデマが流れている。これは全く事実と違う。

大和川堤防に歩道設置を

この田辺地区のポスト設置だけでなく、濱浦市議は、国豊橋からJR高井田駅への大和川堤防の歩道設置についても、竹本直一衆議院議員の協力を経て「国に直談判」するところまでこぎつけるなど、市民のために奔走している。

しかしながら、こうした活動も、市民からの要望、署名がないと進展しない。「柏原市のここを良くしてほしい」という希望は、要望書または署名を集めることで、国の力を動かすことになる。

今後起こりうる巨大地震に備えて、大和川堤防の強化工事に伴う歩道整備を実現するために国土交通省・近畿地方整備局への要望書、署名に市民皆さまのご協力をお願いいたします。（左は、国交省に要望する署名用紙）


国豊橋から JR高井田駅への大和川堤防に歩道を早期実現しよう!

国豊橋を出ると JR高井田駅への歩道は非常に狭く、近鉄国分駅と JR高井田を結ぶ最短ルート、通勤路になっており、この場所は、朝の時間帯には大型トラックなど車の通行量が多く（自転車と歩行者が交差するなど大変危険な状態にあります。

自転車や児童の移転による車道及び歩道の拡張工事も進んでいますが、このままではいずれ大きな事故につながるのではないかと心配です。以前に、転落寸止め防止用堤防は（はみ出し歩道）をつけ る要望も行いましたが同様を減少するはみ出し歩道は狭いままとうて交通量はかりますがいました。国土交通省は、今後起こりうる南海トラフ巨大地震に備えて堤防首況を守るため、大和川堤防の強化拡張工事にかって歩道を整備する事も出ておりま、実現に向けて調査費を検討するまでに進展しています。

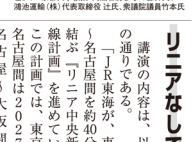
今後とも国土交通省との交渉を継続し、早期に国豊橋北詰から JR高井田駅までの大和川堤防に歩道が実現できるよう JR国土交通省・近畿地方整備局へ要望する署名にお力をお願いいたします。

安全・安心なまちづくりを実現する会
代表　福嶋　新悠美

国土交通省近畿地方整備局
局長　池内　幸司殿

氏名	住所	電話

4月7日、大阪市内で「関西21フォーラム」で、京都大学教授・内閣官房参与の藤井聡氏が、「関西の命運とリニア新幹線」をテーマに講演を行った。


左より　京都大学教授・内閣官房参与の藤井氏、
濱浦運輸（株）代表取締役 辻氏、衆議院議員竹本氏

大阪にリニア、名古屋 大阪 同時開業を！

リニア開通が遅れれば、大阪は地盤沈下する

リニアなしでは大阪は廃れる

講演の内容は、以下の通りである。

JR東海が、東京～名古屋間を約40分で結ぶ「リニア中央新幹線計画」を進めている。この計画では、東京～名古屋間は2027年、名古屋～大阪間は2045年開業を目指している。事業費が9兆円にのぼるので、JR東海は借入金を抑えて金利負担が軽くするように、開業を分けたわけだ。

しかし、これでは、大阪はリニアの開通が名古屋から18年も遅れる。この18年間の差は大きく、関西圏の地盤沈下を起こさせる。

新幹線がない都市は、「大都市」から転落

「明治時代（明治9年）の「人口ベスト15都市」の中に、函館、富山、金沢、和歌山、徳島、熊本、鹿児島が列挙されていた。現代（平成22年）では、これらの都市はすべて姿を消した。代わりに浮上してきたのが、新潟、さいたま、千葉、相模原、川崎、静岡、浜松、堺、岡山、北九州、福岡、札幌である。堺をのぞくと、これらの共通点は、すべて「新幹線がある。堺しても大阪市と隣接しているため、開通している場所」であることになる。

新幹線利用は容易である。このように新幹線の開通は、都市の開発、発展に大きな役割を果たした。大阪へのリニア開通の遅れは、将来の禍根を残すことになる。

東京以外でインフラが整うのは大阪だけ

「東海道新幹線、高速道路で東京と大阪が結ばれたことで人とモノの動きが活発化し、日本は高度成長期を迎え、JAPANの力を世界に示すことになった。大阪の力なくして日本の発展はなかったわけだ。

大阪は、日本において東京に次ぐ第二の都市であり、インフラも整っている。経済面だけでなく、巨大地震の対策としても、リスクを分散させる上で大阪を東京に代わる副首都として、早期のリニア開通で整備する必要がある。